

# 森林づくりと森林を支える社会づくりについて 意見交換 〜みえ現場de県議会〜

県議会では、多様な県民の意見を県議会での議論に反映させるため、「みえ現場de県議会」を毎年度開催しています。



今年度は、11月13日に、尾鷲市にある尾鷲市民文化会館（せぎやまホール）で「森林づくりと森林を支える社会づくり〜みえ森と緑の県民税導入を契機に〜」をテーマに開催しました。

当日は、森林が置かれている現状や森林づくりを進めるうえでの課題を踏まえ、三重の森林を守り、未来へつなげるための森林づくりはどうあるべきか、県議会議員13人が森林を支える社会づくりに関わる方や一般公募による県民の方から直接ご意見をお聴きしました。

参加者からは、次のような意見がありました。

## 森林づくりについて

- ・材価の低迷が続く、森林への関心が薄れ管理ができなくなっている。山の所有者も高齢化が進み、山林の境界がわからなくなってきた。三重県は地籍調査が大変遅れているのでぜひ取り組んでもらいたい。
- ・1次産業である林業、2次産業である木材加工、さらにそれを販売していく6次産業化をめざしてやっていきたい。そこまでやっていかないと、山に植え付けする人が誰もいなくなる。
- ・森林の多面的機能を発揮するために水脈や気脈を考えた森林整備に取り組んでほしい。木の家を高いと思っているお客さんが多いが、実はそんなことはないという情報を安心して入手できる場所を作るといいのではないか。
- ・県産材の利用への補助を拡充するなど、税金の集中利用を願いたい。

## 森林を支える社会づくりに ついて

- ・学校・地域・森林指導者が一体となって環境教育に取り組んでいくべき。
- ・学校の先生にも森林体験の現場に来てほしい。
- ・子どもたちが植樹をするときに、森になるんだと思って植えると全然違う。森づくりをするときには、ただ植えるのではなく、テーマを持ってやった方が教育になっていくと感じる。
- ・ボランティアの横のつながりがなく、交流の場がないようなので、交流会をもつて、協力しながらやれば、よりよい環境教育ができるのではないか。
- ・自社で取り組んだ企業の森活動では、一度植樹はするものの、植えた木がどうなっているのかも知らなかった。今年からは社員参加型にして、ボランティアを募り、追加植樹を行った。こういった活動を地道に続けていきたいと思う。



## 会議の開催状況（会議の様子は、一部を除き県議会ホームページの「議会中継」からご覧いただけます。）

### 11月

- 4日 予算決算常任委員会各分科会  
決算認定議案の審査、所管事項の調査
- 6日 予算決算常任委員会  
決算認定議案の審査、所管事項の調査  
障がい者雇用促進調査特別委員会  
今後の委員会の進め方について
- 21日 本会議  
決算認定議案13件認定、請願4件採択、意見書案4件上程・可決、議案46件上程
- 27日 本会議  
議提議案1件上程、議案3件上程・1件可決、議案に関する質疑（2人）  
予算決算常任委員会総務地域連携分科会

- 先議議案の審査  
予算決算常任委員会  
先議議案の審査  
障がい者雇用促進調査特別委員会  
三重県における障がい者の雇用に係る現状等について ほか

- 28日 本会議  
一般質問（4人）

### 12月

- 2日 本会議  
一般質問（4人）
- 4日 本会議  
一般質問（4人）
- 5日 予算決算常任委員会

- 平成27年度当初予算要求状況の調査
- 8日 予算決算常任委員会  
平成27年度当初予算要求状況の調査（総括的質疑）  
障がい者雇用促進調査特別委員会  
委員長報告案について
- 9日～12日 各常任委員会・分科会  
議案等の審査、所管事項の調査
- 17日 予算決算常任委員会  
議案の審査  
障がい者雇用促進調査特別委員会  
意見書について、委員長報告案について
- 19日 本会議  
議案48件可決、議提議案1件可決、請願1件採択、意見書案2件上程・可決、人事同意議案1件上程・同意